

2022年度 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

学校法人 東放学園

1. 法人の概要

1) 学校法人の沿革

① 法人設立年月

1972年2月 東放学園設立日

1979年4月 学校法人認可日

② 学校設置年月等

1979年4月 東放学園専門学校開校

1984年4月 東放学園情報専門学校開校、専門学校東京アナウンス学院開校

1987年4月 東放学園情報専門学校をアカデミーオブビジネス専門学校に校名変更

1991年4月 東放学園音響専門学校開校、アカデミーオブビジネス専門学校を東放学園放送専門学校に校名変更

2001年4月 東放学園高等専修学校開校

2004年4月 専門学校東放ミュージックカレッジ開校、東放学園放送専門学校を東放学園映画専門学校に校名変更

2010年4月 専門学校東放ミュージックカレッジ閉校

2) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (2022年5月1日現在)

東放学園専門学校 1979年4月設置認可 (単位：名)

| 学科 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|------------|------|------|------|-----|
| 放送芸術科 | 2年 | 120 | 240 | 270 |
| 放送技術科 | 2年 | 102 | 204 | 152 |
| 照明クリエイティブ科 | 2年 | 77 | 154 | 95 |
| テレビ美術科 | 2年 | 40 | 80 | 77 |
| 放送音響科 | 2年 | 89 | 178 | 166 |

東放学園映画専門学校 1984年4月設置認可 (単位：名)

| 学科 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|-------------|------|------|------|-----|
| 映画制作科 | 2年 | 72 | 144 | 168 |
| プロモーション映像科 | 2年 | 36 | 72 | 87 |
| アニメーション・CG科 | 2年 | 36 | 72 | 52 |
| 小説創作科 | 2年 | 36 | 72 | 42 |
| 映画VFX専攻科 | 1年 | 30 | 30 | 11 |

東放学園音響専門学校 1991年1月設置認可 (単位：名)

| 学科 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|-------|------|------|------|-----|
| 音響技術科 | 2年 | 159 | 318 | 364 |
| 音響芸術科 | 2年 | 90 | 180 | 190 |

専門学校東京アナウンス学院 1984年4月設置認可 (単位：名)

| 学科 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|-------------|------|------|------|-----|
| 放送声優科 | 2年 | 191 | 382 | 255 |
| 演技科 | 2年 | 40 | 80 | 58 |
| アナウンス科 | 2年 | 31 | 62 | 25 |
| ダンスパフォーマンス科 | 2年 | 29 | 58 | 21 |
| 芸能バラエティ科 | 2年 | 30 | 60 | 21 |

東放学園高等専修学校 2000年12月設置認可 (単位：名)

| 学科 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|-----|------|------|------|-----|
| 芸術科 | 3年 | 90 | 270 | 118 |

3) 役員の概要 (2023年3月31日現在)

① 定員数、現員数、氏名等

理事定員5名、現員5名

齊藤 晃 (常勤)
 吉田 諭敏 (常勤)
 酒井 努 (常勤)
 大沢 幸弘 (非常勤)
 磯崎 憲一郎 (非常勤)

監事定員2名、現員2名

下吹越 一孝
 青木 鉄美

② 責任免除・役員賠償責任保険の状況

役員が期待された役割を十分発揮できるよう、寄附行為第47条において、必要と認める場合においては、最低責任限度額を控除して得た金額を限度として、理事会の議決をもって役員
 の責任を免除する旨を定めている。また、学園は、全役員を被保険者とする役員賠償責任保険
 契約を締結している。保険料は学園が全額負担しており、役員がその職務の執行に起因して保
 険期間中に損害賠償請求された場合、損害賠償金及び争訟費用等が当該保険にて補填される。

なお被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするための措置として、被保険者による犯罪行為等に起因する損害等については、填補の対象外としている。

4) 評議員の概要 (2023年3月31日現在)

① 定員数、現員数、氏名等

定員 11 名、現員 11 名

齊藤 晃 吉田 諭敏 酒井 努 加藤 諭 金 英順
 未岡 俊一 久野 慎幸 服部 伸太郎 三浦 瑞生 村岡 克彦
 坂本 篤

5) 教職員の概要 (2022年5月1日現在)

① 学校別、本務兼務別員数等

(単位：名)

| 学校等 | 教員 | | 職員 | 計 |
|---------------|----|-----|----|-----|
| | 本務 | 兼務 | | |
| 東放学園専門学校 | 26 | 34 | 4 | 64 |
| 東放学園映画専門学校 | 17 | 32 | 4 | 53 |
| 東放学園音響専門学校 | 16 | 30 | 4 | 50 |
| 専門学校東京アナウンス学院 | 19 | 76 | 4 | 99 |
| 東放学園高等専修学校 | 12 | 50 | 3 | 65 |
| 法人本部等 | 0 | 0 | 51 | 51 |
| 合計 | 90 | 222 | 70 | 382 |

6) 理事会・評議員会の開催状況

①2022年度理事会の開催状況は以下のとおりである。

- 5月期定時理事会 (5月26日)
- 10月期定時理事会 (10月28日)
- 1月期定時理事会 (1月27日)
- 3月期定時理事会 (3月17日)

②2022年度評議員会の開催状況は以下のとおりである。

- 5月期定時評議員会 (5月27日)
- 10月期定時評議員会 (10月28日)
- 1月期定時評議員会 (1月27日)
- 3月期定時評議員会 (3月16日)

2. 事業の概要

「先進的な考えを持った教育機関になる」をテーマに、より多様化する社会の変容に柔軟に応え、社会的な価値を高めるための様々な事業に取り組んでいる

1) 主要事業

- ・教育業界を取り巻く変化の中「あえて専門学校に通う価値」を模索し、それを実現するための施策を検討した。次年度から具体的な教育カリキュラムに落とし込むためのプロジェクトを発足する
- ・専門学校東京アナウンス学院の教育活動の更なる充実を図るために、劇場設備を備えた西新宿四丁目校舎を竣工した
- ・学園全体のカリキュラムの見直しに着手し、次年度は実践的カリキュラムの作成を進めていく
- ・教職員間のコミュニケーション及び互いの業務理解を目的とした、ジョブ・トライアルを実施した

2) 各学校

【東放学園専門学校】

- ・各学科、実習授業の強化を中心としたカリキュラム内容の変更を行った
- ・募集力を強化するために、SNS の開設や体験入学において在校生との交流の機会を増やすなど、新たな取り組みを行った
- ・未内定者の個別連絡や進路面談といった対策を強化した結果、進路決定率の向上が達成された。また次年度への足掛かりとして、1 年次の就職活動イベントを強化した

【東放学園映画専門学校】

- ・講師定年に伴うカリキュラム編成の再構築に着手した。次年度以降、内容検証を進め、さらに整備を進めていく
- ・授業や校内施設の使用状況を踏まえ、校舎内の教室仕様・設備機器の見直し及び用途変更を行った。次年度も継続して、検証・検討をしていく
- ・中途退学防止策の強化のために、各学科の退学理由等の現状分析を行った。次年度は中途退学率の低減に向けて、学生ケアを手厚くする具体的施策を実行していく

【東放学園音響専門学校】

- ・カリキュラムにイマージブ・オーディオの実習を取り入れ、教職員・学生共に Dolby ATMOS 技術の知見を広めた
- ・進路指導担当を中心に学生の就職活動バックアップ体制を強化し、コロナ禍前以上の進路・就職決定率を達成した
- ・「業務取り組み確認シート」を作成・運用し、業務成果の可視化及び職員相互による業務改善評価を実現した

【専門学校東京アナウンス学院】

- ・カリキュラムの最適化を目標に、各学科が教育内容に合わせた新科目やオンライン授業等を取り入れ、授業の最適化を行った
- ・教職員の資質向上を図るため、オーディションや就職指導等の接遇について外部講師による研修を実施し、教職員の知見を深めた
- ・芸能バラエティ科の教育内容を大幅に変更して、オンライン上で活躍するタレント等の育成を

目的とした学科「配信クリエイター科」へ名称変更を計画し、2024 年度募集に向けて準備を進めた

【東放学園高等専修学校】

- ・ SNS の開設や WEB 広告の強化等、時代に合わせた広報活動を行った結果、目標入学者数を達成することが出来た
- ・ 新学習指導要領をベースに本学にあったカリキュラムの再構築を検討した。次年度は、学内プロジェクトを立ち上げ、さらに具体的に整備を進める
- ・ 中途退学率 10%未満を目指して生徒指導の質の向上を図っている。また、進路系行事を見直し、個別の進路指導にも注力した

3) 法人運営

【法人本部】

- ・ 西新宿 4 丁目校舎の開校に向けた諸手続きを完了した
- ・ クラウド型経費精算システムの導入に着手し、次年度からの本運用に向けての調整を進めた
- ・ 省エネ及び脱炭素化推進の一環として、東放学園高等専修学校の空調設備を省エネ高効率型へ刷新し、3つの校舎の照明機器を LED 化した
- ・ 人事の役割区分の定義内容をより具体化した

【入学広報センター】

- ・ 「希望者目線で、希望者に寄り添う」をテーマに、オンライン・対面形式をハイブリッドで取り入れ、ニーズに合わせたシンプルかつ分かりやすい募集を展開した
- ・ SNS 発信を強化し、学校の認知度向上を図った
- ・ 昨年度リニューアルした公式ホームページの効果検証を行い、追加修正や仕様改善を継続的に行った

【International center】

- ・ 通年で各種オンラインイベントを開催し、海外からの入学者が増加した。また、新たな募集活動の試みとして中国留学生座談会を行い、学校の認知度向上を図った
- ・ 昨年度に引き続き日本語講座を充実させ、日本語能力向上の促進に努めた結果、進路決定率は約 87%に到達できた
- ・ 海外からの認知度向上を目的として、海外向け Web 広告を掲載し、広報活動を強化した

【キャリアサポートセンター】

- ・ 進路決定率 90%（就職内定率 90%）を目標に、難関企業対策、プロダクション合格対策に取り組む。その結果、進路決定率・就職内定率共に 90%を上回り、コロナ禍前の数字を超過した
- ・ 就職情報システムをクラウド型の新システムへ移行し、運用を開始した
- ・ 卒業生支援として週 1 回の個別相談会を実施し、卒業生の就職・転職を支援した。また、卒業後の求職者に対しては、毎週メールにて求人情報を配信した

3. 財務の概要

1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

純資産の部合計は、前年度末より 0.7 億円減少し、141.8 億円となった。

貸借対照表

2023年3月31日

(単位 円)

| 資産の部 | | | |
|-------------|----------------|----------------|---------------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定資産 | 10,788,263,000 | 10,472,468,953 | 315,794,047 |
| 有形固定資産 | 9,560,593,448 | 9,095,610,193 | 464,983,255 |
| 特定資産 | 0 | 400,000,000 | ▲ 400,000,000 |
| その他の固定資産 | 1,227,669,552 | 976,858,760 | 250,810,792 |
| 流動資産 | 4,909,149,740 | 5,440,952,841 | ▲ 531,803,101 |
| 資産の部合計 | 15,697,412,740 | 15,913,421,794 | ▲ 216,009,054 |
| 負債の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定負債 | 0 | 0 | 0 |
| 流動負債 | 1,510,097,171 | 1,654,495,743 | ▲ 144,398,572 |
| 負債の部合計 | 1,510,097,171 | 1,654,495,743 | ▲ 144,398,572 |
| 純資産の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 基本金 | 15,099,137,058 | 14,801,500,148 | 297,636,910 |
| 第1号基本金 | 15,099,137,058 | 14,401,500,148 | 697,636,910 |
| 第2号基本金 | 0 | 400,000,000 | ▲ 400,000,000 |
| 繰越収支差額 | ▲ 911,821,489 | ▲ 542,574,097 | ▲ 369,247,392 |
| 純資産の部合計 | 14,187,315,569 | 14,258,926,051 | ▲ 71,610,482 |
| 負債及び純資産の部合計 | 15,697,412,740 | 15,913,421,794 | ▲ 216,009,054 |

② 収支計算書の状況

【資金収支計算書】

翌年度繰越支払資金は 47.5 億円となり、前年度繰越支払資金より 4.0 億円減少した。

資 金 収 支 計 算 書

2022年 4月 1日 から
2023年 3月31日 まで

(単位 円)

| 収入の部 | | | |
|-------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 2,628,989,000 | 2,641,284,100 | ▲ 12,295,100 |
| 手数料収入 | 19,425,000 | 19,962,300 | ▲ 537,300 |
| 寄付金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 補助金収入 | 193,770,000 | 195,013,300 | ▲ 1,243,300 |
| 資産売却収入 | 118,000,000 | 217,027,200 | ▲ 99,027,200 |
| 付随事業・収益事業収入 | 23,850,000 | 14,880,522 | 8,969,478 |
| 受取利息・配当金収入 | 3,000,000 | 5,442,837 | ▲ 2,442,837 |
| 雑収入 | 37,455,000 | 48,053,078 | ▲ 10,598,078 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 1,466,684,000 | 1,372,008,896 | 94,675,104 |
| その他の収入 | 915,283,956 | 954,282,564 | ▲ 38,998,608 |
| 資金収入調整勘定 | ▲ 1,443,728,470 | ▲ 1,445,866,674 | 2,138,204 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,150,379,494 | 5,150,379,494 | |
| 収入の部合計 | 9,113,107,980 | 9,172,467,617 | ▲ 59,359,637 |
| 支出の部 | | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 1,178,064,000 | 1,159,044,593 | 19,019,407 |
| 教育研究経費支出 | 1,007,448,000 | 984,296,037 | 23,151,963 |
| 管理経費支出 | 569,148,000 | 539,934,643 | 29,213,357 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 675,000,000 | 658,528,420 | 16,471,580 |
| 設備関係支出 | 162,221,000 | 170,193,546 | ▲ 7,972,546 |
| 資産運用支出 | 338,995,000 | 345,138,975 | ▲ 6,143,975 |
| その他の支出 | 662,683,989 | 712,090,323 | ▲ 49,406,334 |
| 〔予備費〕 | 20,000,000 | | 20,000,000 |
| 資金支出調整勘定 | ▲ 151,171,334 | ▲ 149,079,969 | ▲ 2,091,365 |
| 翌年度繰越支払資金 | 4,650,719,325 | 4,752,321,049 | ▲ 101,601,724 |
| 支出の部合計 | 9,113,107,980 | 9,172,467,617 | ▲ 59,359,637 |

【事業活動収支計算書】

基本金組入前当年度収支差額、経常収支差額ともにマイナスであるが、エネルギー等の物価高騰、コロナ禍での学生数減少による影響であり、想定の範囲内である。学費の見直しを検討。

事業活動収支計算書

2022年 4月 1日 から
2023年 3月31日 まで

(単位 円)

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|---------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 教育活動収入の部 | 事業活動収入 | 学生生徒等納付金 | 2,628,989,000 | 2,641,284,100 | ▲ 12,295,100 |
| | | 手数料 | 19,425,000 | 19,962,300 | ▲ 537,300 |
| | | 寄付金 | 0 | 0 | 0 |
| | | 経常費等補助金 | 164,822,000 | 166,065,300 | ▲ 1,243,300 |
| | | 東京都補助金 | 154,811,000 | 156,053,800 | ▲ 1,242,800 |
| | | 東京都私学財団補助金 | 10,011,000 | 10,011,500 | ▲ 500 |
| | | 付随事業収入 | 23,850,000 | 14,880,522 | 8,969,478 |
| | | 雑収入 | 37,455,000 | 43,179,041 | ▲ 5,724,041 |
| | | 教育活動収入計 | 2,874,541,000 | 2,885,371,263 | ▲ 10,830,263 |
| | | 教育活動支出の部 | 事業活動支出 | 人件費 | 1,178,064,000 |
| 教育研究経費 | 1,322,359,000 | | | 1,298,855,400 | 23,503,600 |
| 管理経費 | 588,577,000 | | | 557,342,373 | 31,234,627 |
| 徴収不能額等 | 0 | | | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 3,089,000,000 | | | 3,015,242,366 | 73,757,634 |
| 教育活動収支差額 | ▲ 214,459,000 | | | ▲ 129,871,103 | ▲ 84,587,897 |
| 教育活動外収入の部 | 事業活動収入 | 受取利息・配当金 | 3,000,000 | 5,394,090 | ▲ 2,394,090 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 | 4,894,400 | ▲ 4,894,400 |
| | | 教育活動外収入計 | 3,000,000 | 10,288,490 | ▲ 7,288,490 |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収支差額 | 3,000,000 | 10,288,490 | ▲ 7,288,490 | | |
| 経常収支差額 | ▲ 211,459,000 | ▲ 119,582,613 | ▲ 91,876,387 | | |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 49,450,000 | ▲ 49,450,000 |
| | | その他の特別収入 | 28,948,000 | 28,948,000 | 0 |
| | | 特別収入計 | 28,948,000 | 78,398,000 | ▲ 49,450,000 |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 0 | 30,425,869 | ▲ 30,425,869 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 特別支出計 | 0 | 30,425,869 | ▲ 30,425,869 |
| 特別収支差額 | 28,948,000 | 47,972,131 | ▲ 19,024,131 | | |
| [予備費] | 20,000,000 | | 20,000,000 | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | ▲ 202,511,000 | ▲ 71,610,482 | ▲ 130,900,518 | | |
| 基本金組入額合計 | ▲ 437,221,000 | ▲ 306,972,546 | ▲ 130,248,454 | | |
| 当年度収支差額 | ▲ 639,732,000 | ▲ 378,583,028 | ▲ 261,148,972 | | |
| 前年度繰越収支差額 | ▲ 542,574,097 | ▲ 542,574,097 | 0 | | |
| 基本金取崩額 | 0 | 9,335,636 | ▲ 9,335,636 | | |
| 翌年度繰越収支差額 | ▲ 1,182,306,097 | ▲ 911,821,489 | ▲ 270,484,608 | | |
| (参考) | | | | | |
| 事業活動収入計 | 2,906,489,000 | 2,974,057,753 | ▲ 67,568,753 | | |
| 事業活動支出計 | 3,109,000,000 | 3,045,668,235 | 63,331,765 | | |

2) 主な財務比率比較

(学校法人会計基準改正後)

| | 比率名 | 算式 | 年度 | | | | |
|---------------|------------|--|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
| 事業活動収支計算書関係比率 | 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$ | 4.18% | 5.40% | 7.33% | 3.24% | -2.41% |
| | 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$ | 99.91% | 116.15% | 100.67% | 153.70% | 113.80% |
| | 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$ | 94.81% | 95.95% | 90.27% | 90.47% | 91.22% |
| | 人件費比率 | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$ | 36.71% | 36.20% | 36.06% | 37.00% | 40.03% |
| | 教育研究経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$ | 38.58% | 38.79% | 39.31% | 40.54% | 44.86% |
| | 管理経費比率 | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$ | 20.50% | 19.03% | 16.99% | 19.81% | 19.25% |
| 貸借対照表関係比率 | 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ | 367.59% | 345.02% | 356.35% | 328.86% | 325.09% |
| | 負債比率 | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$ | 13.92% | 13.38% | 13.02% | 11.60% | 10.64% |
| | 純資産構成比率 | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債 + 純資産}}$ | 87.78% | 88.20% | 88.48% | 89.60% | 90.38% |
| | 基本金比率 | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ | 99.97% | 99.47% | 99.49% | 99.78% | 99.86% |

以上